

pdffill パッケージの説明書 (Last modified: May 9, 2011)

1 概要

申請書や報告書といった事務書類を作成するとき、慣れない Word や Excel の様式を送られて編集する必要に迫られることが多いです。特にある程度の長さの文章を記述する欄がある場合、Word や Excel では無様な仕上がりになってしまったり、枠が崩れてしまったり、ページ数が不意に増えていたりしてイライラします（使い方が下手なせいかもしれないが）。あげくの果てに記入して保存したファイルを修正のためにもう一度開こうとしたらクラッシュした日には……（← 実体験）。

pdffill は使い慣れた L^AT_EX で美しく事務書類を作成するためのパッケージです。目標は科研費 L^AT_EX^{*1}の方法を一般化することです。

2 とりあえず使ってみよう

細かいことを書く前にまずは使い方を見てみましょう。例として、次ページにあるような申請書に記入することを考えます。

*1 <http://osksn2.hep.sci.osaka-u.ac.jp/~taku/kakenhiLaTeX/>

ほげほげ申請書

平成 年 月 日

ほげほげ協会 会長 殿

下記の通りほげほげすることを申請します。

フリガナ						
申請者氏名						
会員番号						

ほげほげするに至った理由

この申請書のファイル名を `sampleform.pdf` とします。とりあえず、次のように書いたファイルを同じディレクトリに用意しましょう。

```
\documentclass{article}
\usepackage{pdffill}
%% ここに日本語関連のパッケージの読み込み・設定を書く
\begin{document}
\pdfdefaultoption{grid,draft}
\pdffill{sampleform}{}
\end{document}
```

これを `xelatex`, もしくは `lualatex` コマンドでコンパイルすると次ページのような出力が得られます。出力を見ながら `\pdffill{sampleform}{}` の部分を次のように変えてみましょう。

```
\pdffill{sampleform}{
% 日付
\pfnode[right] (13.75, 24.85) {\splitboxes{14.5mm}{{23}{5}{9}}}
% 名前のフリガナ
\pfnode[right] (5.6, 21.85) {\footnotesize ホゲ タロウ}
% 名前
\pfnode[right] (5.6, 21.3) {保毛 太郎}
% 会員番号
\pfnode[right] (5.38, 20.7) {\splitboxes{7.3mm}{1234567}}
% 申請理由
\pfnode[below right,text width=43em] (3.3, 20) {\parindent=1em\par
  これまでに多くの場でほげほげの経験を積み、その結果あらゆる場面でほげほげする能力を
  身に付けることができました。
  この能力をより広く社会で生かしていくためには、貴協会ではげほげすることが
  何よりも効果的であると判断しました。
  申請が認められた後には、全世界ではげほげするほげほげツアーを実施し、
  さらにほげほげをほげほげしていく所存ではげほげ。

  ほげほげほげほげほげほげほげほげほげほげほげほげほげほげほげほげほげほげほげほげほげほげ
  (以下略)
}
}
```

これで次々ページの出力が得られます。さらに `\pdfdefaultoption{grid,draft}` をコメントアウトすれば完成です。

ほげほげ申請書

平成 年 月 日

ほげほげ協会 会長 殿

下記の通りほげほげすることを申請します。

フリガナ																	
申請者氏名																	
会員番号																	
ほげほげするに至った理由																	

ほげほげ申請書

平成 23 年 5 月 9 日

ほげほげ協会 会長 殿

下記の通りほげほげすることを申請します。

[illegible]

ほげほげ申請書

平成 23 年 5 月 9 日

ほげほげ協会 会長 殿

下記の通りほげほげすることを申請します。

[illegible]

3 詳しい使い方

未完.